

様式4の2

令和6年度 学校運営協議会評価報告書2

鳥取県立米子白鳳高等学校学校
 学校長 中原 達夫

評 価 日	令和 7年 1月 25日 (土)	
評 価・提 言	学校の所見・改善策	
<p>1 重点目標の達成状況について 生徒の様子が落ち着いており、学校の取組が浸透してきていると思われ、自己評価のAの数が6個というのも妥当と感じる。生徒は開校時より年々落ち着いてきており、学校の取組(教育方針・活動方針)が生徒の人格形成にいい影響を与えていると感じている。</p> <p>2 目標達成のための取組結果について 学習発表会では、発表する側、聞く側とも素晴らしかった。大きなステージでたくさんの人の前で自分の考えや意見をまとめて話せており生徒の成長を感じる。</p> <p>3 目標達成のために取り組んだ具体方策について 淀江地区の教育資源を活かした各種取組についてどの取組に関しても、年々生徒の様子がよい方向へ変化しており、評価できる。また、取組によっては米子白鳳高校側のみではなく受け入れ側にもよい影響が出ているものもあり、今後も交流を続けていきたい。アンケートにて「自信がついた活動があった」と感じる生徒が多いことは評価が高いと思う。</p> <p>4 その他 地域の行事やイベントなどに対するボランティア活動を積極的に取り入れて、生徒の活動の場を増やしてはどうか。</p>	<p>・今後も自立に向けた活動を系統的に企画し、実施していきたい。</p> <p>・学習発表会では、地域の人材や素材を活用した教育活動の成果を発表している。この取組は、本校教育にとってとてもよい影響を与えており、今後も継続していきたい。</p> <p>・地域連携による各種取組は、教育効果が高いと感じており、今後とも事業を通して生徒の「ふるさと」とつながる心の育成に努めていきたい。</p> <p>・今後、検討していきたい。</p>	